

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応募者に関する情報

記入日： 2012年 11月 30日

応募者情報	
応募 団体名	(フリガナ) ボウサイ&ツイトウ&ゆうじ タキダシグランプリ
	(団体名) 防災&追悼&有事 炊き出しグランプリ 一般社団法人エコ食品健研究会、ハウス食品、カルビー、東京都 市大学、東京大学、関西大学、松山大学ほか
応募 担当者 連絡先	団体名： 一般社団法人エコ食品健研究会
	〒252 - 0184 所在地： 神奈川県相模原市緑区小淵 1707 2階
	部署名： 本部
	役職名： 代表理事
	氏名： 久保 正英
	TEL： 042 - 684 - 9656 FAX： 042 - 684 - 9655
	E-Mail： ecokenhp@yahoo.co.jp
ホームページ	http://www.takidashigp.jp/

応募団体の主たる事業

炊き出しグランプリを主催する一般社団法人エコ食品健究会（以下当会）は、多くの中小、小規模食関連企業さらにはアメリカ大豆協会等の外国食関連団体の支援を受け、2011年3月11日の東日本大震災以降、被災地（以下福島県・宮城県・岩手県を指す）で述べ120拠点42,000食の炊き出しによる『食の支援』を実施してきました。震災直後の救援フェーズから始まり、日々の支援物資で偏った栄養バランスを考えるなど、述べ4ヶ月にも渡る活動でした。この一連の活動で見えたこと、それは大きく以下の2つに絞られます。

- ・ 炊き出しは被災者と支援者とのコミュニケーションツールである
- ・ 炊き出しは有事の際、非常に必要な被災者支援の一つである

私たちの調査では今回の震災後、延べ8,000団体や個人が被災地で炊き出しを実施した模様です。これはとても素敵な実績であると心の底から賞賛する一方、多くのトラブルがあったのも調査から判明しています。それは配膳予定時間に間に合わなかったり、コミュニケーションの行き違いで口論になったり、配膳後、紙容器等をそのまま捨てていたり等、様々です。これらのトラブルは一言で言うと、せつかくの被災者支援である炊き出しが、『炊き出し支援団体や個人に炊き出しスキルが欠落している』ために起因したものと言えます。被災者も支援者も炊き出し支援は、善意から始まり、善意で終わるものになりたいと思っています。このような動向を一連の支援活動を通じて肌で感じ、また調査で明らかになり、思案した結果生まれたものが、この『3.11 追悼チャリティー炊き出しグランプリ』です。炊き出しは善意の気持ちだけで現場に赴く時代は今回で終わらせたいと思っています。炊き出し実施意向団体は、日頃から有事の際に備え、炊き出し訓練をし、実際に起こった有事の際には、このようなトラブルが起こらないよう準備しておく必要があると考えます。

また、今回の震災で当会は約30名超の仕事の仲間や友人を『食の仕事』に失いました。3.11を今後毎年迎えるに当たり、亡くなった彼ら彼女らのことを思うわけですが、亡くなられた仲間はどういった追悼をすれば喜んでくれるのだろうか、きっと食の仕事中に亡くなったのだから『食べ物のイベント』で追悼すれば喜んでもらえるのではないだろうか。そんな想いの中からも、この『3.11 追悼チャリティー炊き出しグランプリ』が生まれています。

震災から1年目を迎えた2012年3月11日に実施したvol.1では、『なぜ実施するのか?』を多くのメディアを通して伝えることが叶いました。そして、これから迎えるvol.2では今後想定される有事に備えての本格的な炊き出しトレーニングの場が提供されるのです。エネルギーを如何に無から生み出すか、必要な食材をどう調達するか、被災者にどのような美味しさや栄養を提供するか等、このグランプリを通じてノウハウや知見を共有していただくことで進化を遂げたいと考えています。当会は食の仕事に関わり続ける限りこの『3.11 追悼チャリティー炊き出しグランプリ』を毎年3.11に実施していくつもりです。

（チャリティーイベント）被災地の飲食店の方々は仮設店舗において復興を夢みてがんばっているものの、震災前の厨房設備・什器・備品等が揃わずに日々をなんとか乗りきっている。この被災地の飲食店の方々の現状に焦点をあて、必要設備・什器・備品等を充実にすべく、イベント売上は全額各飲食店に寄付されます。



第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

被災地復興支援チャリティーイベント「炊き出しグランプリ」を被災地 J-VER でカーボン・オフセット（4CJ-1100080）

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

3①-1に記載した算定範囲と同じ

具体的には、イベント開催における出展者、スタッフ及び来場者の交通移動、炊き出しの際に使用するガス、水道。

算定方法については、環境省の算定ガイドラインに基づき東京都市大学の伊坪研究室と共同で進めた。総量 19 トン

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

当該申請チャリティーイベントは2012年3月11日に実施されたもので応募資格有りです。来年2013年3月10日-11日に実施予定の「炊き出しグランプリ vol.2」においても実施予定です。

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URLを記載願います。

<http://www.takidashigp.jp/>（ホームページ）

<http://www.facebook.com/takidashigp>（フェイスブック）

